

令和7年度 本牧原地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性

地域アセスメントを通じて把握した「地域課題」について、情報収集や共有に努め、課題解決に向けて5職種が連携をはかり、多角的な視点で地域に密着した事業や取り組みを行っていく。

☐ 今年度の重点的な取組

新規
継続

—具体的な取組内容—

- | | | |
|--------------------------|---|--|
| ☐ | ■ | 住民主体の社会貢献活動の場を増やし一人ひとりが充実し生きがいとなるよう活動の場を提供していく。高齢化に伴う問題は包括と連携を取りながら、予防に努め、日ごろの活動や社会貢献がフレイル予防につながることを伝えていく。地域施設との連携事業を通じて地域貢献していく。 |
| ☐ | ■ | 自分事としてとらえてもらえるような講座の開催を目指すため、5職種で認知症サポーター養成講座の内容について検討していく。また、小学校などで認知症サポーター養成講座ができるよう、出前講座のチラシを作成し、先生に働きかけを行っていく。 |
| ☐ | ■ | 介護をしている人が孤立することなく、安心して地域に住み続けられるように、相談しやすい環境やサロン場の提供を行っていく。
ケアマネジャーがインフォーマルサービスをプランに取り入れ、地域の方と連携が図れるよう、情報発信と啓発を続けていく。 |
| ☐ | ■ | 「住民間の見守り」について、自分事としてとらえてもらえるよう「防災」を通じて働きかけていく。 |
| ☐ | ■ | 本牧原エリアでは、運動機能低下者、低栄養割合者、口腔機能低下者の割合が多くなっている。本年度より介護と医療の一体的実施事業が始まることもあり、地域住民に、より広く体力測定之机会を提供し、フレイルの早期発見に努めていく。また、住民自らが健康づくりの必要性を理解できるようにフレイルについて啓発していくと共に、健康づくりサポーターがやりがいを持ってボランティア活動に取り組めるように支援していく。企業連携も行い、住民の興味のある事業を展開していく。 |

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り

・本牧小キッズクラブで認知症サポーター養成講座の開催ができた。チームオレンジのメンバーと内容について検討し、実施することができた。また、出前講座のチラシを作成し、大鳥小学校に配布することができた。引き続き働きかけをしていく。

・体力測定会を老人会やケアプラザを含め10回程度は実施できた。新規サポーターも古参と交じり、楽しく活動を行うことができていた。また、ハマトレをサポーター自身が習得する機会をもったことで、体力測定以外にもハマトレを地域住民と一緒にやる機会をもつことができた。

・集いは毎月開催できた。参加メンバーが介護を卒業した人だけになり、参加メンバーと話し合い、形を変えて来年度に向けて開催していくこととなった。来年度に向けて新たに介護者のつどいを企画予定。

・坂道や階段が多い地域の住民は、防災について関心が高い。一部の町内会では、毎年、内容を変えながら地域全体で取り組んでいる。今年度は他の地区の会長も見学に来られ、情報を共有されていた。他の地域への働きかけも引き続き行っていく。

☐ 区からのコメント

「はらっぱ祭り」や「ヤシの木カフェ」といった多世代が交流する場づくりなど、エリアの特性に応じたネットワーク構築に精力的に取り組んでいただきました。小学生への認知症サポーター養成講座や参加者に合わせた「介護者のつどい」の見直しなど、地域に寄り添った支援も素晴らしいと思います。

健康づくりサポーターと協働した体力測定会やハマトレを通じたフレイル予防への取組も着実に広がっています。引き続きよろしくお願いいたします。

令和7年度本牧原地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンス等への対応について (事故報告、個人情報保護、備品管理簿)
取組計画	(1) 法人で定められている「苦情解決規則」に基づいて、地域ケアプラザにおいても苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置して、利用される方からのご意見及びご要望、苦情などに対応するとともに再発防止に努めます。 (2) 法人では公正・中立の立場を重んじた、斡旋、調整を行う第三者委員を設置し、適切な苦情解決に向けての体制を整備し、取り組みます。 (3) 館内に「ご意見箱」を設置し、いつでもどなたからでも何かあればご意見等を受け付けるようにしています。また設置場所は受付から見えにくく記入しやすい場所にしてあります。 (4) 事業ごとにお客様アンケートをいただき、改善、発展につなげます。 (5) 包括支援センターにおいては、新規のケースを地域の居宅介護事業所の際、新規依頼表を作成し、公平になるよう努めています。	(1) 介護サービス提供中などに事故に至らなくても気が付いた点について「ヒヤリハット報告書」に記録してミーティングや会議の場で報告し、原因の究明と対応を検討し職場内で注意喚起や徹底をするとともに介護技術向上の研修を通して、事故の未然防止に努めます。 (2) 所内会議等において、他の事業所などでの事故の事例や緊急対応マニュアルを確認するなど、事故防止に関する研修を組み入れ、職場における危機管理意識の向上に努めます。 (3) 毎月衛生委員会ですリスクマネジメントについての報告、検討をし産業医からのアドバイスを受けています。 (4) 地域ケアプラザ内全職員に対し、年1回の「個人情報保護修」と共に、法人で作成した「プライバシーの尊厳と保護に関するマニュアル」による人権研修を実施し職員の意識を高めます。 (5) 法人全体内で情報漏えいの事故があった際には職員会議、デイスタッフ会議等で共有します。
実績	(1) 法人で定められている「苦情解決規則」に基づいて、地域ケアプラザにおいても苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置して、利用される方からのご意見及びご要望、苦情などに対応するとともに再発防止に努めました。 (2) 法人では公正・中立の立場を重んじた、斡旋、調整を行う第三者委員を設置し、適切な苦情解決に向けての体制を整備し、取り組みました。 (3) 館内に「ご意見箱」を設置し、いつでもどなたからでも何かあればご意見等を受け付けるようにしています。また設置場所は受付から見えにくく記入しやすい場所にしてあります。 (4) 事業ごとにお客様アンケートをいただき、改善、発展につなげました。 (5) 包括支援センターにおいては、新規のケースを地域の居宅介護事業所の際、新規依頼表を作成し、公平になるよう努めていました。	(1) 介護サービス提供中などに事故に至らなくても気が付いた点について「ヒヤリハット報告書」に記録してミーティングや会議の場で報告し、原因の究明と対応を検討し職場内で注意喚起や徹底をするとともに介護技術向上の研修を通して、事故の未然防止に努めました。 (2) 所内会議等において、他の事業所などでの事故の事例や緊急対応マニュアルを確認するなど、事故防止に関する研修を組み入れ、職場における危機管理意識の向上に努めました。 (3) 毎月衛生委員会ですリスクマネジメントについての報告、検討をし産業医からのアドバイスを受けていました。 (4) 地域ケアプラザ内全職員に対し、年1回の「個人情報保護修」と共に、法人で作成した「プライバシーの尊厳と保護に関するマニュアル」による人権研修を実施し職員の意識を高めました。 (5) 法人全体内で情報漏えいの事故があった際には職員会議、デイスタッフ会議等で共有しました。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	(1) 介護予防プランが滞ることのない体制を維持します。また、ご本人が、自ら主体的に介護予防、健康維持に取り組めるよう、介護保険サービス以外の地域活動もプランに取り入れ、要介護状態とならないように努めます。 (2) 地域ケアプラザ自主事業や、地域でのサロン、社会資源(インフォーマルなサービスも含む)も取り入れた計画を作成します。また、社会資源(インフォーマルサービスを含む)を計画に取り込めるようにケアマネジャーにも周知していきます。 (3) 介護予防プラン、介護予防ケアマネジメント委託先の居宅介護支援事業所をはじめ、関係事業所、地域との連携を密にしていき、包括ケアシステムの構築を念頭におきながら住み慣れた地域に生活し続けられるよう働きかけていきます。 (4) 生活支援コーディネーターや地域活動交流コーディネーターと連携し、集いの場など介護予防が行える拠点を創出していくと共にフレイルについて地域住民へ啓発していきます。 (5) 健康づくりサポーターさんの活動を支援しスキルのステップアップを目指すと共に、新たなメンバーも創出し地域住民が主体となって健康づくりができるように支援していきます。 (6) 高齢者と保健事業と介護予防の一体的実施事業開始に伴い、フレイルチェックシートを活用しフレイル該当者の把握に努める。	(1) 在宅生活されているご本人とご家族の意向を尊重して、ケアプランを作成します。 (2) ご本人の生活歴を踏まえ、住み慣れた地域でその人らしい生活ができるように介護保険以外の町内の交流会や 地域ケアプラザにおける自主事業などを紹介していきます。 (3) 退院後も在宅生活が安心して送れるように 家族、医療機関、地域包括支援センター、在宅サービス事業者などと連携を図り、随時プランの見直しをしていきます。 (4) 認知症になっても地域の見守りや理解により、在宅生活が継続できるように日頃から主治医、民生委員、近隣の方々を行う情報交換、勉強会、研修会に参加して自己研鑽に努めるとともに地域とのネットワークづくりを推進します。 (5) 地域ケアプラザ内の居宅介護支援事業所であるメリットを活かして困りごとや課題を 地域の社会資源の発掘や活用役に役立てるため生活支援コーディネーターに伝え 連携をとっていきましょう努めます。 (6) 感染防止対策を行いながら介護保険制度における制度の説明や具体的なサービスの利用等について、お客様への丁寧な説明を心掛けます。 (7) 終末期を迎えるお客様に対して医療、包括との連携、即時性を考え行っていくよう努めます。 (8) ケアプラザ内の包括にいらした相談者の内容次第で速やかに連携し緊急性がある場合は速やかに対応します。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額 【その他料金】	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額 【その他料金】
職員体制	保健師1名、社会福祉士1名、主任ケアマネジャー1名、プランナー2名	常勤介護支援専門員4名、常勤兼務1名、非常勤介護支援専門員1名
契約者数	196名	223名

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	【通所介護】 (1)お客様が参加して楽しんで頂ける、季節の行事やイベントを増やしていきます。 (2)ボランティアさんを通して、囲碁や麻雀などお客様の声が反映できるレクリエーションを実施していきます。 (3)季節にあった、毎月のお楽しみ風呂で、季節を感じて頂きます。 【第一号通所事業】 個別機能訓練や機能訓練、お客様の生活環境に即した訓練等、個別性の高いプログラムを充実させます。	【認知症対応型通所介護】 (1)季節ごとの花や植木の寄せ植え、盆栽など、自然と触れ合う機会を感じて頂きます。また実際に収穫した野菜を皆様に調理し、試食をしていただきます。 (2)毎月のカレンダー制作や季節の壁画制作など、制作活動を通じて、季節感あふれる癒しの空間をお客様と一緒に作り出していきます。 (3)地域の方との交流を図るため、地域のイベントへの参加やお祭りでのお店の出店をします。	
実施体制	【実施日数】 週7日 【提供時間】 9:30～16:35 【定員】 34名	【実施日数】 週7日 【提供時間】 9:30～16:35 【定員】 12名	
利用料金	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額	
	〈通所介護〉 ● 負担割合 【1割負担】 (要介護1)706円 (要介護2)833円 (要介護3)965円 (要介護4)1,097円 (要介護5)1,231円 ● サービス提供体制強化加算Ⅲ 7円 ● 入浴加算(Ⅰ) 43円 ● 中重度者ケア体制加算 49円 ● 個別機能訓練(Ⅰ)イ 60円 ● 個別機能訓練(Ⅱ) 22円 ● 科学的介護推進体制加算 43円 【2割負担】 (要介護1)1,411円 (要介護2)1,666円 (要介護3)1,930円 (要介護4)2,194円 (要介護5)2,462円 ● サービス提供体制強化加算Ⅲ 13円 ● 入浴加算(Ⅰ) 86円 ● 中重度者ケア体制加算 97円 ● 個別機能訓練(Ⅰ)イ 120円 ● 個別機能訓練(Ⅱ) 43円 ● 科学的介護推進体制加算 86円	〈認知症対応型通所介護〉 ● 負担割合 【1割負担】 (要介護1)1,082円 (要介護2)1,199円 (要介護3)1,317円 (要介護4)1,435円 (要介護5)1,553円 ● サービス提供体制強化加算 7円 ● 入浴加算(Ⅰ) 44円 ● 個別機能訓練(Ⅰ) 30円 ● 個別機能訓練(Ⅱ) 22円 ● 科学的介護推進体制加算 44円 【2割負担】 (要介護1)2,163円 (要介護2)2,398円 (要介護3)2,633円 (要介護4)2,870円 (要介護5)3,105円 ● サービス提供体制強化加算Ⅲ 13円 ● 入浴加算(Ⅰ) 87円 ● 個別機能訓練(Ⅰ) 59円 ● 個別機能訓練(Ⅱ) 44円 ● 科学的介護推進体制加算 87円	【その他料金】
	【3割負担】 (要介護1)2,116円 (要介護2)2,499円 (要介護3)2,895円 (要介護4)3,290円 (要介護5)3,692円 ● サービス提供体制強化加算Ⅲ 20円 ● 入浴加算(Ⅰ) 129円 ● 中重度者ケア体制加算 145円 ※ 食費負担 750円 ● 個別機能訓練(Ⅰ)イ 180円 ● 個別機能訓練(Ⅱ) 65円 ● 科学的介護推進体制加算 129円 ※ 介護職員等特定処遇改善加算(Ⅱ)として利用単位数の1,000分の90に相当する単位数の料金が加算されます。	【3割負担】 (要介護1)3,245円 (要介護2)3,597円 (要介護3)3,950円 (要介護4)4,305円 (要介護5)4,658円 ● サービス提供体制強化加算Ⅲ 20円 ● 入浴加算(Ⅰ) 131円 ● 個別機能訓練(Ⅰ) 88円 ● 個別機能訓練(Ⅱ) 66円 ● 科学的介護推進体制加算 131円 ※ 介護職員等特定処遇改善加算(Ⅱ)として利用単位数の1,000分の174に相当する単位数の料金が加算されます。	
職員体制	管理者1名、生活相談員4名、デイスタッフ28名、運転手7名、看護職員兼機能訓練指導員7名、調理員6名	管理者1名、生活相談員4名、デイスタッフ14名、運転手9名、看護職員兼機能訓練指導員7名、調理員6名	
契約者数等	【延べ利用者数】 8,314人 1,141人	【延べ利用者数】 3,329人 323人	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和7年度「本牧原地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	20,051,177	296,528	20,347,705	19,339,535	1,008,170	横浜市より
内 受領額	20,051,177	296,528	20,347,705	20,347,705	0	
戻入額				△ 1,008,170	1,008,170	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	418,800	△ 418,800	
雑入	0	0	0	96,050	△ 96,050	
内 印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
その他	0		0	96,050	△ 96,050	
その他			0		0	
収入合計	20,051,177	296,528	20,347,705	19,854,385	483,320	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	13,218,825	0	0	10,661,994	△ 10,661,994	本部経費は含まれていません。
内 本俸	9,584,487		0	9,371,348	△ 9,371,348	職員給与・非常勤職員給与・職員賞与
社会保険料	1,094,682		0	887,075	△ 887,075	法定福利費支出
手当計	2,263,987		0	171,759	△ 171,759	職員諸手当・職員通勤費
健康診断費	47,023		0	42,993	△ 42,993	職員健康診断
勤労者福祉共済掛金	9,554		0	7,506	△ 7,506	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	217,183		0	178,126	△ 178,126	退職給与掛金
その他	1,909		0	3,187	△ 3,187	
事務費	1,300,000	0	0	2,024,214	△ 2,024,214	本部経費は含まれていません。
旅費	793		0	122	△ 122	旅費交通費
消耗品費	142,469		0	152,858	△ 152,858	事務消耗品費
会議随い費	3,077		0	6,373	△ 6,373	
印刷製本費	57,493		0	108,120	△ 108,120	インク及びパフォーマンスチャージ料
通信費	197,325		0	406,369	△ 406,369	切手、はがき、宅急便、電話料金、ネットワーク回線費用など
使用料及び賃借料	22,062	0	0	41,379	△ 41,379	
内 自販機目的外使用料（横浜市への支出）	11,734		0	21,120	△ 21,120	
その他	10,328		0	20,259	△ 20,259	
備品購入費	0		0	60,000	△ 60,000	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	10,606		0	19,184	△ 19,184	傷害賠償保険他
職員等研修費	506		0	420	△ 420	研修研究費
振込手数料	477		0	0	0	振込手数料
リース料	20,512		0	73,756	△ 73,756	玄関マット、会計用サーバ等、PCリース料他
手数料	18,233		0	33,702	△ 33,702	EBサービス手数料、残高証明発行手数料他
地域協力費	4,444		0	9,250	△ 9,250	
公租公課	717	0	0	0	0	
事業所税	0		0	0	0	
内 消費税	0		0	0	0	
印紙税	717		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
その他	821,286		0	1,112,681	△ 1,112,681	玄関マット、トイレ芳香剤、給与計算委託、入札委託料、ガolin代、諸会費、パソコン保守料・産業医、施設メンテナンス、広報誌、自転車修理、ADサーバ運用保守等
事業費	2,200,000	0	0	590,214	△ 590,214	本部経費は含まれていません。
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	2,200,000		0	590,214	△ 590,214	
その他			0	0	0	
管理費	8,270,352	0	0	7,223,870	△ 7,223,870	本部経費は含まれていません。
光熱水費	5,306,534		0	3,884,298	△ 3,884,298	
清掃費	2,269,787		0	2,137,871	△ 2,137,871	
機械整備費	117,299		0	121,539	△ 121,539	機械整備委託料
設備保全費	342,403	0	0	841,464	△ 841,464	
空調衛生設備保守	0		0	360,783	△ 360,783	
消防設備保守	0		0	65,697	△ 65,697	
電気設備保守	130,295		0	141,248	△ 141,248	電気設備委託料
害虫駆除清掃保守	0		0	21,899	△ 21,899	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	212,108		0	251,837	△ 251,837	エレベーター保守・植栽管理・冷温水発生装置不審火調査料
共益費	116,155		0	0	0	ごみ処理費用
その他	118,174		0	238,698	△ 238,698	予算は変額金額と合わせるためマイナスとした
修繕費	474,000		0	263,830	△ 263,830	予算：指定額
太陽光パネル保守点検			0	0	0	
太陽光パネル修繕（追加）			0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
内	0		0	0	0	
支出合計	25,463,177	0	0	20,764,122	△ 20,764,122	
差引	△ 5,412,000	296,528	△ 5,115,472	△ 909,737	△ 4,205,735	

自主事業費 収入	0	0	0	418,800	△ 418,800	
自主事業費 支出	2,200,000	0	0	590,214	△ 590,214	
自主事業 収支	△ 2,200,000	0	0	△ 171,414	171,414	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	11,734	0	0	21,120	△ 21,120	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 11,734	0	0	△ 21,120	21,120	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和7年度「本牧原地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞

収入の部						(単位: 円)
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	26,064,234	303,472	26,367,706	26,185,836	181,870	横浜市より
内 受領額	26,064,234	303,472	26,367,706	26,367,706	0	
戻入額				△ 181,870	181,870	
指定管理料【介護予防】	154,000	0	154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	30,000	0	30,000	30,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	6,150,623	6,150,623	12,301,246	6,150,623	6,150,623	横浜市より
内 受領額	6,150,623	0	6,150,623	6,150,623	0	
戻入額				0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0	8,200	△ 8,200	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】			0	0	0	
雑入	0	0	0	26,800	△ 26,800	
内 印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	26,800	△ 26,800	受入研修費
その他			0	0	0	
収入合計	32,398,857	6,454,095	38,852,952	32,555,459	6,297,493	

支出の部						
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
28,037,857 人件費	28,037,857	0	0	24,401,074	△ 24,401,074	本部経費は含まれていません。
14240165 本俸	15,884,716		0	20,464,548	△ 20,464,548	職員給与・非常勤職員給与・職員賞与
3789164 社会保険料	4,204,452		0	2,932,014	△ 2,932,014	法定福利費支出
7322067 手当計	8,167,668		0	468,926	△ 468,926	職員諸手当・職員通勤費
23201 健康診断費	25,880		0	26,253	△ 26,253	職員健康診断
28012 勤労者福祉共済掛金	31,247		0	25,756	△ 25,756	ハマふれんど
648375 退職給付引当金繰入額	723,253		0	480,938	△ 480,938	退職給与掛金
575 その他	641		0	2,639	△ 2,639	
528,720 事務費	528,720	0	0	1,871,089	△ 1,871,089	本部経費は含まれていません。
12228 旅費	7,987		0	11,234	△ 11,234	旅費交通費
185888 消耗品費	121,339		0	116,773	△ 116,773	事務消耗品費
0 会議明い費	0		0	0	0	
103478 印刷製本費	67,545		0	108,120	△ 108,120	インク及びバフオーマンスチャージ料
320878 通信費	209,454		0	357,637	△ 357,637	切手、はがき、宅急便、電話料金、ネットワーク回線費用など
48091 使用料及び賃借料	31,391	0	0	20,259	△ 20,259	
内 自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
戻 入 額	31,391		0	20,259	△ 20,259	
0 備品購入費	0		0	0	0	
0 図書購入費	0		0	0	0	
19090 施設賠償責任保険	12,461		0	19,184	△ 19,184	傷害賠償保険他
11180 職員等研修費	7,297		0	1,082	△ 1,082	研修研究費
453 振込手数料	295		0	0	0	振込手数料
36920 リース料	24,099		0	73,756	△ 73,756	玄関マット、会計用サーバ等、PCリース料他
36777 手数料	24,006		0	31,632	△ 31,632	EBサービス手数料、残高証明発行手数料他
35000 地域協力費	22,846		0	29,250	△ 29,250	
0 公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0	0	0	
内 消費税	0		0	0	0	
戻 入 額	0		0	0	0	
印紙税	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
その他	0		0	1,102,162	△ 1,102,162	玄関マット、トイレ芳香剤、給与計算委託、入札委託料、ガソリン代、諸会費、パソコン保守料・産業医、施設パンフレット、広報誌、自転車修理、ADサービ運用保守等 予算は受領金額と合わせるためマイナスとした。
2,041,280 事業費	2,041,280	0	0	718,772	△ 718,772	本部経費は含まれていません。
504000 協力医	630,000		0	504,000	△ 504,000	予算：指定額
29368 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	938,000		0	10,897	△ 10,897	
153705 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		0	154,000	△ 154,000	
132000 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	30,000		0	20,000	△ 20,000	
0 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	289,280		0	29,875	△ 29,875	
0 その他			0	0	0	
2,085,000 管理費	2,085,000	0	0	1,920,262	△ 1,920,262	本部経費は含まれていません。
1529166 光熱水費	1,367,514		0	1,032,534	△ 1,032,534	
654077 清掃費	549,477		0	568,294	△ 568,294	
33801 機械整備費	28,395		0	32,307	△ 32,307	機械整備委託料
98668 設備保全費	82,888	0	0	0	0	
空調衛生設備保守	0		0	95,904	△ 95,904	
消防設備保守	0		0	17,463	△ 17,463	
電気設備保守	31,541		0	37,546	△ 37,546	電気設備委託料
害虫駆除清掃保守	0		0	5,821	△ 5,821	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	51,347		0	66,943	△ 66,943	エレベーター保守・植栽管理・冷温水発生装置不着火調査料
33471 共益費	28,118		0	0	0	ごみ処理費用
34054 その他	28,608		0	63,450	△ 63,450	予算は受領金額と合わせるためマイナスとした。
128,000 修繕費	126,000		0	70,130	△ 70,130	予算：指定額
その他	0	0	0	0	0	本部経費は含まれていません。
戻 入 額	0		0	0	0	
支出合計	33,818,857	0	0	28,981,327	△ 28,981,327	
差引	△ 1,420,000	6,454,095	5,034,095	3,574,132	1,459,963	

自主事業費 収入	0	0	0	8,200	△ 8,200
自主事業費 支出	1,411,280	0	1,411,280	214,772	1,196,508
自主事業 収支	△ 1,411,280	0	△ 1,411,280	△ 206,572	△ 1,204,708

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各次項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和7年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書＜介護保険事業分＞

施設名:本牧原地域ケアプラザ

令和7年4月1日～令和8年3月31日

(単位:千円)

	科目	認知症対応型通所介護			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	49,976	57,850	-7,874	16,624	10,349	6,275	41,966	43,474	-1,508	86,236	94,436	-8,200
	その他	8,146	57	8,089	0	0	0	2,535	1,892	643	26,814	560	26,254
	受託事業収入(追加配付)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認定調査委託料	0	0	0	0	0	0	200	468	-268	0	0	0
	原案作成委託料	0	0	0	0	0	0	2,335	1,404	931	0	0	0
	補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	8,146	57	8,089	0	0	0	0	20	-20	26,814	560	26,254
	収入合計(A)	58,122	57,907	215	16,624	10,349	6,275	44,501	45,366	-865	113,050	94,996	18,054
支出	人件費	36,297	37,018	-721	3,551	2,672	879	24,759	25,983	-1,224	81,723	83,160	-1,437
	事務費	2,172	1,349	823	11,153	6,042	5,111	2,471	2,372	99	6,472	4,126	2,346
	事業費	3,284	3,362	-78	49	0	49	77	83	-6	9,328	9,700	-372
	管理費	2,801	2,428	373	0	0	0	0	0	0	7,283	6,566	717
	その他	12,818	13,750	-932	1,589	15	1,574	14,920	10,888	4,032	4,975	1,776	3,199
	利用者負担軽減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	消費税	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護予防プラン委託料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	本部繰入金	12,795	11,936	859	1,574	0	1,574	14,855	10,824	4,031	4,598	0	4,598
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	23	1,814	-1,791	15	15	0	65	64	1	377	1,776	-1,399
	支出合計(B)	57,372	57,907	-535	16,342	8,729	7,613	42,227	39,326	2,901	109,781	105,328	4,453
収支 (A) - (B)		750	0	750	282	1,620	-1,338	2,274	6,040	-3,766	3,269	-10,332	13,601

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和7年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業			1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（１と２）	5：共催（１と３）	2：福祉保健活動に発展させることを			4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（２と３）	7：共催（１と２と３）		ねらいとした事業			7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン 実施回数	延べ参加人数	うちオンライン 参加人数
1	フレイル予防セミナー	平成25年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：発展させるねらい	椅子に座ってストレッチや筋トレ、コグニサイズを行うことで外出の機会を提供するとともに、オーラルフレイルや栄養講座を行い、フレイルについて総合的に学ぶ。元気づくりステーションに向けて動いていく。	1：高齢者	1、5	椅子に座ってストレッチ＋筋トレ＋コグニサイズを実施し体力維持に務める。オーラルフレイルやバランスの良い食事について学習する。 毎月第2月曜日14:00～開催	11	0	87	0
2	健康づくりサポーター支援	令和3年度	2：地域包括支援センター運営事業	2：発展させるねらい	健康づくりサポーターの方々をより健康づくりサポーターとして活動していくために体力測定のみならずフレイルやハマトレについてももう少し深く学んでいただき、地域に還元できることを目的とする。	5：地域	1、5	各月の定例会と地域で体力測定会を開催する。フレイルについても学び、なぜ体力測定をして継続的にフォローしていかないといけないのかを学ぶ。 毎月第3月曜日10:00～	6	0	79	0
3	元気なまち運営委員会	令和5年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	元気なまち運営委員会より講義依頼あり。講義内容は役員へアンケートを行いアンケート結果にて実施予定。	1：高齢者	1、5	7月5日(土)13:30～ 中本牧コミュニティハウスにて	1	0	12	0
4	キュービー栄養講座	令和7年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	本牧原エリアでは低栄養者割合が増加している。栄養講座は人気がなく参加者獲得に難しい現状があったため企業連携を機に栄養について興味を持ってもらうことを目的とする。	1：高齢者	1、5	9月30日(火)13:30～15:00	1	0	24	0
5	のどピコ体操で楽しく「のど」を鍛えよう！	令和7年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	本牧原エリアではオーラルフレイル者の割合が増加している。オーラルフレイル予防の一環として楽しく「のど」を鍛え、自宅でも実践してもらうことを目的とする。	1：高齢者	1、5	9月16日(火)13:30～15:30	1	0	34	0
6	体力測定会の開催	令和3年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	健康づくりサポーターを中心に元気づくりステーション、OP利用者、老人会メンバー向けに体力測定会を行いフレイル該当者の洗い出しを行うと共にフレイル予防について啓発していく。	1：高齢者	1、5	体力測定会を適宜開催。場所はケアプラザ、中コミハ、上台集会所で開催。8月・2月・3月以外の月に開催予定。	13	0	154	0
7	サロン潮風	令和元年度	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	地域住民(特に高齢者)の閉じこもり防止し、仲間づくりを支援する。	1：高齢者	5	毎月第1木曜日 13:00～14:00 ボランティアによる脳トレや歌	11	0	178	0
8	介護者の集い「グリーンリーフ」	令和2年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	認知症等の高齢者を介護している家族の集いの場。介護者が介護のため自宅にこもることなく、気分転換や介護負担を軽減するためのサロン。	5：地域	1、5	介護者が日頃の思いなどを語り合い、意見交換をする。 毎月第2金曜日 13:00～14:30	12	0	110	0
9	ベタンクルー	平成16年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	継続的に会を行うことで、転倒骨折を予防するとともに仲間作りを支援する。お体に不安がある方でもレクリエーションを楽しむ。	1：高齢者	1、5	毎月第1・3月曜 13:30～14:30 開催。 はまちゃん体操やベタンクなどを楽しむ。 毎年、区内で実施されるベタンク大会にチームで参加する。「寿和の会」より改名講師 米山 結花	17	0	233	0
10	シニアリミック	平成29年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	運動不足を解消し持続的に事業を行うことで仲間作りの場を提供する。	1：高齢者	1、5	毎月第4月曜 13:45～14:45 開催。 音楽に合わせて体で表現する。 講師 松平 光代	12	0	133	0
11	子育てサロン ほんもつくんひろば	平成15年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	子育て世代の親の情報交換や仲間作りの場を提供する。地域の身近な方に話を聞いてもらったり、相談することで育児不安を解消する。	4：子ども・青少年	2、3、4、5	毎月第3火曜 10:00～12:00まで開催。 第4南部保健活動推進委員、第4南部主任児童委員、本牧彼岸保健活動推進員が持ち回りで担当。ボランティアによる読み聞かせや子育てパートナーによる育児相談などあり。	12	0	228	0
12	脳イキイキ教室	平成18年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	読み書き計算や、定期的な外出で認知予防をはかる。相談コーナーを通して仲間作りを支援する。サポーターとしてボランティアを育成するとともに、卒業生をボランティア活動や次の事業に繋げる。	1：高齢者	1、5	毎週木曜 10:00～12:00 開催 (9月・3月を除く)公文教材を使用し、サポーターが丁寧にわかりながら読み書き計算を行う。毎日行う課題もある。	43	0	528	0
13	健脳体操教室	平成16年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	認知症予防にもなる運動を取り入れ、持続的に事業を行うことで仲間作りの場を提供する。	1：高齢者	1、5	毎月第2・4木曜日 13:0～15:00 開催 脳に刺激を与えながら日常生活に必要な筋力を鍛える。講師 貝原 美佐子(YMCA)	24	0	862	0
14	シルバー体操	平成12年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	運動不足を解消し持続的に事業を行うことで仲間作りの場を提供する。普段行わないことをすることで、様々な機能への刺激を与える。	1：高齢者	1、5	毎月第1・3金曜 9:30～11:30 時間内2部制 開催体操やリズムに合わせての運動、フォークダンスとバラエティーな内容。 講師 高橋 侑子	22	0	446	0
15	ピアノで歌おう	令和4年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	ボランティアによるピアノ伴奏による歌唱季節の歌を皆で楽しむ。フレイル予防の一助とする。	5：地域	1、2、3、5	毎月第3金曜日(6、11、3月のぞく)13時30分 ピアノ演奏ボランティア	8	0	348	0
16	貸館説明会	令和元年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	施設利用について理解する・交流会実施	5：地域	7	令和7年6月15日(日)午前・午後	2	0	44	0
17	Chill Café	令和5年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	人と人とのつながりや交流の場とする。ボランティアをのかりにとっては無理なく楽しく活動する。	5：地域	5、6、7	令和7年5月23日(金)13:00～15:00 年8回	7	0	160	0
18	はらっぱ祭り	平成26年度	7：共催(1と2と3)	1：優先的に取り組み	ケアプラザに来る機会のない方たちのも足を運んでいただく機会とする。子育て世代への参加を促す。	5：地域	1、2、3、4、5、6、	令和7年11月22日10:00～14時30分	1	0	574	0
19	出前講座	令和4年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	ケアプラザと地域の方の関係性を良好にし、福祉保健等様々な講座を行い啓発していく	5：地域		地域の方から「ケアプラザの役割について知りたい」という声があり、老人会やサロンに出向いてケアプラザの役割について理解してもらう	9	0	220	0
20	ウエルネスビラティス	令和7年度	4：共催(1と2)	2：発展させるねらい	50～70代までの地域住民を対象として腰痛・肩こり・尿失禁予防のためにストレッチやインナーマッスルの強化を目的とする。また、若い世代を対象とすることで早期から介護予防への取り組みを啓発する。	5：地域	5	令和7年5月18日全5回予定	15	0	71	0

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業			■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン 実施回数	延べ参加人数	うちオンライン 参加人数
21	おやこで手話ソング	令和7年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	手話ソングを親子で楽しむ	4:子ども・青少年	5, 6, 7	令和7年5月11日	1	0	10	0
22	夏休み！自分で作ろうお昼ごはん おにぎらず	令和7年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	簡単に自分にもできる昼食を作ってみることに挑戦する	4:子ども・青少年	5	令和7年7月26日(土)9:30～12:00	1	0	10	0
23	夏休み子どもの探求心を育てよう	令和7年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	・包丁を使わず、簡単に美味しい調理法を体験する。常備野菜でいざというときに備える調理方法を学ぶ。 ・科学の洋書がいつばいの料理を通じて子どもの好奇心や、探求心を育てる。	4:子ども・青少年	4	令和7年7月28日29日 8月21日 9:30～12:00	3	0	57	0
24	チームオレンジ	令和7年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	認知症の人が安心して自分らしく暮らせる地域づくりを進めるため。 認知症の理解促進に向けて周知活動をしていく。	5:地域		適宜、認知症サポーター養成講座の開催に向けて定例会と打ち合わせを行う	5	0	40	0
25	ライトアッププロジェクト	平成28年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	本牧神社の神事をライトアップして地域が一体となりお祭りを盛り上げる。	5:地域	5	8月1日～8月3日	1	0	500	0
26	包丁研ぎ	令和7年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザに来る機会のない方にも足を運んでいただく機会とする	5:地域	5	8月22日、11月28日	2	0	52	0
27	ケアマネぶらっと	令和7年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	区内のケアマネジャーのレベルアップと仲間づくりの場	6:事業者	6	講義、事例検討、情報共有 6月24日、9月29日、2月24日	3	0	45	0
28	認知症サポーター養成講座	平成25年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	認知症について正しく理解してもらう。 地域で認知症についての理解が進む。	5:地域	5	地域で依頼があれば適宜開催 チームオレンジで企画を考えて講座を進行していく。	1	0	46	0
29	成年後見制度無料相談会	令和7年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	成年後見制度の必要性が高いケースについて早期発見、必要な支援につなげることができる。	1:高齢者	5	成年後見制度について個別相談会を実施する。9/17、30分2枠	1	0	1	0
30	膝痛・腰痛予防講座	令和6年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	正しい姿勢を知ること、関節疾患を予防することができる。	1:高齢者	1	9月26日(金)10:00～12:00	1	0	24	0
31	パパの育児尾アップデート講座	令和7年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子どもと触れ合う体験や、他の父親たちと交流を通じて、子育て、家事、パートナーシップに直ける父親の重要性を学び、家族全体のチーム力を高める。	3:養育者及び乳幼児	3	・10月18日体を使った遊びのコツ ・11月8日読み聞かせ効果、みんなで考える育児と仕事 ・12月6日イライラしない子育てとママという関係を作るコツ	3	0	27	0
32	本牧かぼちゃ祭り	令和7年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域行事に参加し街ぐるみで盛り上げ、活気づくりの一助となる。子どもたちにケアプラザを知ってもらう。お祭りの周知も	4:子ども・青少年	3, 4,	10月25日(土)	1	0	400	0
33	共読について	令和7年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	共読の楽しみを知る。本の魅力を語り合い本を通じて人とのつながりを深める。	5:地域	5	10月5日、19日	2	0	25	0
34	傾聴ボランティア養成講座	平成30年度	3:生活支援体制整備事業	2:発展させる ねらい	・傾聴を通して相手の気持ちに共感し、寄り添うことができるスキルを身につける。 ・地域で活躍するきっかけやボランティアとして活動する仲間づくりの場とする。	5:地域	1, 5	傾聴ボランティアを養成するため講座を4回実施。 9月29日、10月6日、13日、20日	4	0	41	0
35	本牧X	令和5年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	近隣施設と共催することで、それぞれの利用者に互いの施設や機能を知ってもらう機会とする。	5:地域		昭和30年頃からの本牧の写真を収集し、今後の活動に活かしていく。随時受付し12月26日まで収集。	1	0	30	0
36	横浜みどりアップ計画 市民の森にかかわるきっかけづくり	令和5年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	・横浜に残る貴重な里山を散策し、自然を身近に感じる機会とする。 ・一人で外出するのを躊躇している高齢者の外出する機会とし、仲間づくりを進めていく。	5:地域	1, 5	小机駅～小机城址市民の森～鶴見川流域センターをガイドの案内で巡る。 10月29日	1	0	11	0
37	中区6包括共催終活連続講座	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	終活啓発事業 元氣なうちから備えることの大切さについて普及。区役所高齢障害支援課、中区社会福祉協議会、中区6包括共催	5:地域		令和7年度10月29日、12月1日、2月4日の3回連続講座	3	3	58	21
38	資生堂ジャパン いきいき美容セミナー	令和7年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	メイクアップで介護予防行動につなげることを目的とする。	1:高齢者	1, 5	令和7年12月18日(木)	1	0	18	0
39	お買い物してみよう	令和7年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	お金の大切さを親子で考える。買い物をして実際お小遣い帳を付ける体験をする。	4:子ども・青少年	5	令和8年1月31日(土)	1	0	13	0
40	ぶらり本牧	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	本牧の街をあるいて地元になる施設巡り施設を知ってもらい、地元で楽しむことを発見する。さらに地元に着るを持つ。	5:地域	5	令和8年1月21日～2月28日	1	0	500	0
41	人生後半の身軽プラン	令和7年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	成年後見制度の必要性が高いケースについて早期発見、必要な支援につなげることができる。	1:高齢者	5	法人後見つぽみと共催 令和8年2月14日(土)	1	0	12	0